

2018年度共修プログラム実施プロジェクト報告書

[京都の伝統工芸を見学してみよう！～化学・工学の観点から～]

「京都」の伝統工芸品に着目し、伝統工芸品の製造過程を見学することにより化学や工学の観点から知識を深め、在学している外国人留学生の満足度向上をはかることで外国人留学生を増やすことが出来ると考えました。そこで、事前に西陣織の企業である House of Hosoo にアポイントをとり、企画の日程や内容の調整を行いました。そして本共修プロジェクトメンバーの留学生を通じた周知や、Outlook メールを用いた周知により見学参加者を募集し、プロジェクトメンバー5人、留学生4人、事務室の方2人の計11人で訪問しました。

見学プロジェクト当日はバスをチャーターし、12時から見学を開始しました。まず企業の方のお話を聞かせていただき、その後ショールームと工房の見学を行い、最後には質疑応答を行いました。質疑応答では留学生が積極的に質問をし、西陣織の機械や織り方の仕組み、House of Hosoo 独自の技術である140センチの織物について学ぶことができました。見学は2時間で終え、終了時にはアンケートを実施し、次回の企画へ生かすためのフィードバックを得ました。今後、期待できる成果としては、日本の伝統的工芸品を理解し、さらに日本を好きになってもらうことで同志社大学の愛校心の向上が期待できます。また、日本人学生と外国人留学生がともに日本の伝統文化に触れながら交流でき、多くの魅力的な日本企業、技術者との交流のきっかけを得ることができるということが挙げられます。

